

第11回 あたごはら 愛宕原遺跡 (荒井)

愛宕原遺跡は陸上自衛隊福島駐屯地の南側に位置し、荒川の南側、安達太良山から張り出した丘陵のすそ野に立地する縄文時代から平安時代の遺跡です。

昭和63年道路改良工事に伴う発掘調査により、縄文時代中期(4000~4500年前)の竪穴住居が13棟見つかりました。

13棟中8棟は複式炉を伴っており、直径はおおむね4~5mですが、1棟は直径8mの大型のものです。また、長さ57cm、重さ7.2kgの石棒が焼けた家の壁から突き出た状態で見つかりました。住居跡の東側からは貯蔵穴も見つかりました。

遺跡の周辺に現在も広がる雑木林を散策しながら、縄文の暮らしを想像してみるのも、遺跡の楽しみ方の一つではないでしょうか。



住居の中央には石と縄文土器を組み合わせで作られた複式炉があります。



石棒の根もととは壁に埋め込まれ、壁から突き出すように据えられていました。

用語解説

「石棒」

縄文時代中期の終わり頃から晩期にかけて祭祀に使用された、棒状に加工された石器を石棒と呼びます。中期のものは大形で端にくびれを持つだけの単純な形のものですが、住居の中から見つかることが多く、家族単位での祭祀に使用されていたものがある可能性があります。



宮畑遺跡でも縄文時代中期の竪穴住居から石棒が出土しています

「川と集落」

現在、宮畑遺跡は阿武隈川からおよそ1kmほど離れていますが、航空写真を見ると遺跡のすぐ西側に古い川の跡が幾筋かみられます。発掘調査の結果から、縄文時代後期には遺跡のすぐ下を阿武隈川が流れていたこともわかっています。縄文人たちは阿武隈川を水源や交通路の一つとして利用していたにちがいありません。



編集後記

ある秋晴れの土曜日、じょーもぴあ史跡公園の遊園地利用の光景です。遊園地に設置されている遊具の全てが沢山の子供達によって利用されています。さらにこの遊園地の中で、沢山の家族連れがバーベキューやいも煮会などを楽しんでいる姿も見られます。このようなたのしい光景を目にすることができ、じょーもぴあ・遺跡の案内人が目指していた目標のひとつが達成された思いがします。うれしい限りです。

みやはた だより じょーもぴあ宮畑 第13号 平成26年12月

☆「じょーもぴあ」とは、「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です。

発行：じょーもぴあ・遺跡の案内人 編集：じょーもぴあ宮畑だより編集班

整備の様子をのぞいてみよう 第9回

じょーもぴあ宮畑のメインの建物となる体験学習施設は1階部分の建設を終え、10月からは2階部分の建設が始まりました。その後、屋根の工事や内装の工事、外構の工事、展示資料の搬入、開館準備を行い、平成27年8月のオープンを迎える予定です。

現地では着々と工事が進んでおり、徐々に体験学習施設の外観が姿を現し始めています。



建設の進む体験学習施設 (右上は完成予想図)

じょーもぴあ宮畑利用案内

- 名称 宮畑遺跡史跡公園 (史跡公園じょーもぴあ宮畑)
- 所在地 福島市岡島字宮畑地内
- 施設 縄文時代の復元建物、芝生広場、子供の遊具、駐車場、四阿、水飲み場、休憩棟 (トイレ併設)
- 駐車場・トイレの開放時間 開錠：午前8時30分 施錠時間：午後5時30分
- 交通手段 ・東北自動車道福島飯坂ICから車で15分
・福島駅東口③番バス乗り場 (月の輪行き) 向鎌田バス停より徒歩7分



じょーもぴあ宮畑の現在の環境放射線測定値は平均で0.09~0.12マイクロシーベルト/時間です。

じょーもぴあ宮畑見学会

(6月29日、7月27日、8月31日)

3回の見学会には合計で約200名の見学者が来園し、復元された掘立柱建物や竪穴住居の解説を聞きながら、火起こしや弓矢などの縄文体験を楽しみました。



縄文人になりきって記念写真!



火起こして縄文人に挑戦です

じょーもぴあ宮畑で夏休みの自由研究をしてみよう

(8月9日)

福島県植物研究会五十嵐彰先生、福島虫の会齊藤忠雄先生を講師に、自然観察会が開催されました。講師の解説・指導の下、虫や植物を観察し、自然と触れ合う一日となりました。



草むらにはどんな虫がいるのかな?



捕まえた虫は先生に見てもらいました

じょーもぴあ宮畑まつり

毎年恒例のじょーもぴあ宮畑まつり(10月5日)は1200名が来場し、縄文時代にちなんだ競技や縄文体験、草むしりピックなどで会場は大いに盛り上がりました。

縄リンピック 弓矢的あて、弓矢一本勝負、丸太ころがし競争、じゃんけん競争、四つ葉のクローバーを探せの各競技は、子供からお年寄りまで沢山の人が参加しました。みんな初めての競技にかいっぱい体当たりでチャレンジしていました。



普段手にしない道具は飛ばすのも大変です



ねらいを定めて!うまく当たるかな?



力を合わせて自分より大きな丸太を転がせ!



気持ち急いでいても思い通りに転がりません



自分のお面と同じお面に向かって



じゃんけんぽん!

草むしりピック 公園内の決められたエリア内の雑草を刈る競技です。刈った草の量と草刈り後のきれいさを競いました。

結果は優勝が岡山地区体育協会、準優勝が福島市役所選抜、3位は慶河苑町内会、見た目がきれいで賞がもちずり地区老人会連合会でした。



われわれは草むしりピック精神にのっとり!



こんなごっこいいのがい? んだ、ほれでいいから!



どんどん草が刈られ公園がきれいになっていきます



市役所チームは笑ってないで草をむしってください!

物産販売・縄文鍋 9団体が、野菜や焼きそば・カレー・豚汁などを販売し、お昼には行列ができたほどです。縄文鍋もあっという間になくなりました。



出来立てのアツアツです!



縄文土器で調理しました

出展団体

東部地区女性団体連絡協議会、コスモス料理倶楽部、リラの会、月輪夏祭実行委員会、もちずり地区老人クラブ連合会、文殊工房、岡山地区の子ども未来を考える会、ふくしまやきとりの会、だかしや本舗彩菓庵



売店では話も弾みます

縄文物作り・展示ガイド じょーもぴあ・遺跡の案内人は勾玉作りの体験サポートと掘立柱建物・竪穴住居跡・露出展示の案内ガイドを担当しました。



家族そろって勾玉作り



勾玉作りは今回も大人気でした



縄文服で気分は縄文人!?



露出展示では発掘調査で見つかった時のままの縄文土器にひっきり



縄文時代にこんな大きな建物があつたんですよ!



アツギン編みは実演だけではなく体験もしていただきました

宮畑ミステリー交流ツアー

(8月23日)

ツアーには宮畑ミステリー大賞への応募者を中心に、県内外から45名が集まりました。参加者たちは、実際に説明を聞きながら遺跡を見学したり、丸太引きや石斧による立木の伐採など様々な体験をしながら、ミステリー大賞への意欲を燃やしていました。



1トン近い丸太を力を合わせて引っばります!



石斧で立木を切ることがどれだけ大変なのか身を以て体験しました

宮畑遺跡で「福島発見」

(8月8日)

『JNNふるさと紀行』のテレビ取材を受けました。レポーターのダニエル・カールさんは手作りの縄文服に身を包み、遺跡の解説を聞きながら縄文鍋に舌鼓をうちました。



縄文人より似合うでねえかい!?



縄文鍋の調理も手伝ってもらいました。石器で鮭を切るのは初体験!